

自閉症スペクトラム障害者の 「コミュニケーション問題と支援」の研究会(ASD研究会)

演者: 白瀧貞昭先生(精療発達障害研究所・精療クリニック小林)

タイトル: 「ASDにおける語用論の問題について」

ディスカッサント: 大井学・高橋和子

要旨: 演者は1989年頃より、自閉症(PDD)の最初期兆候を1歳半健診にて検出できる「母子間愛着関係確立障害」に求めることができると主張してきた。勿論、母子間愛着関係確立障害の根底にあるのは母親の子供への愛情不足であるとか、子供側の母親への信頼感の欠如というようなものではなく、今日の「PDDは発達性の神経・認知機能発達障害とみなすことができる」という概念化と軌を一にするものであった。演者の考えでは、この概念化は今日の「高機能PDD」においても妥当性を有するとみなしてもよい。演者は高機能PDDの中核障害は「語用機能障害」であるとみなす考えに賛成であるが、そこで、この語用機能障害を発達・神経・認知機能の障害という観点からどのように理解するのが喫急の課題であると感じている。この理解の一助となる仮説的概念化を提供して、ディスカッションの材料としたい。

開催日: 2010年6月7日(月)

開催時間: 19時00分 ~ 20時30分

開催場所: 医学部十全講堂2階大会議室



子どものこころの発達研究センター
コミュニケーション支援開拓部門
E-mail childdev@med.kanazawa-u.ac.jp
Tel/Fax 076-234-4213